

NIA LETTER

Vol. 24
2022.9

発行元／公益財団法人新潟県国際交流協会
(NIA) Niigata International Association



今号の表紙

- 左上 新潟県国際交流プラザ内の韓国コーナー
- 右上 新潟フィリピン協会設立記念総会の様子
- 左下 笹団子づくりを体験する留学生交流推進員(柏崎市)

FRCNのマスコットキャラクター「やっこい」の紹介があるよ！詳しくは4ページへ！



NIA LETTER は、UD デジタル教科書体を使っています

UD デジタル教科書体とは…

障がいのある方やお年寄り、外国人等すべての人にとって分かりやすく、読み取りやすいよう、画線のバランス等が工夫された書体のことです。

UDデジタル教科書体	もなりざやからきれい
MSゴシック	もなりざやからきれい
MS明朝	もなりざやからきれい

Contents

特集

新潟の外国人コミュニティ ～新潟との関わりかた～

県内で活動している外国人コミュニティについてご紹介します！



■外国人相談の窓から — 外国人相談センター新潟通信 —	4
■JICA新潟デスクだより	5
■NIA活動レポート・NIAからのお知らせ①	6、7
■NIAからのお知らせ②・4コマ漫画	8

現在、新潟県内には16,936人の外国人が暮らしています。(令和3年12月現在 法務省在留外国人統計より)。多くの外国人が生活するようになると、同国人同士で助け合ったり情報交換したりする外国人コミュニティが生まれます。県内にもいくつかのコミュニティがあり、自国民だけでなく地域の日本人とも積極的に交流・協力して、地域社会で安心して生活できるよう活動しています。今号では、その中の4つのコミュニティがどのような活動をし、地域に何を望んでいるのかをご紹介します。



新潟フィリピン協会 会長 スティーブソン・アロン 氏

コミュニティの紹介

私たちは、新潟において、社会的、文化的体験を深め、促進することを目的とした在住フィリピン人、日本人、外国人による非営利団体で、在名古屋フィリピン総領事館に登録されたフィリピン人コミュニティ団体協会(RFCO)です。特に災害への備えと緊急時の支援として、在住フィリピン人へ領事館からの情報を定期的かつ迅速に発信し、助言を提供したいと考えています。

また、領事館の公式活動に参加し、他のフィリピン人コミュニティ団体協会とのネットワークを構築するとともに、新潟を第二の故郷として定着させることを目指しています。

活動内容

- 新潟フィリピン協会設立記念総会
- 在名古屋フィリピン総領事館訪問
- フィリピンの災害時のためのチャリティーイベント
- フィリピンでのボランティア活動
- 県内在住フィリピン人の相談窓口としての活動

地域交流イベント

フィリピン人研修生バスケットボール大会、夏のバーベキュー交流会、新潟県学生英語スピーチコンテストの協賛、フィリピン共和国の独立記念日イベント、クリスマスパーティーなどの開催・参加



新潟との関わりかた

新潟フィリピン協会の設立を通じて、県民と県内在住フィリピン人とのより良い関係を育むことができるよう願っています。会員のイベントや活動をとおして、県民の皆様の社会的および文化的経験を促進させるため、多くの県内在住フィリピン人、県民および他の外国人に参加してもらえよう努めます。

また、フィリピンという国と人々にもっと興味を持ってくれる県民が増えることを願っています。それにより、より多くの人から人への文化交流を構築したいと考えています。



海外在住ネパール人協会日本支部

会計 スナル・ディパク 氏

コミュニティの紹介

海外在住ネパール人協会日本支部は、ネパール政府公認の非営利団体です。日本で暮らすネパール人が困ったときに様々なサポートを行っています。

また、交流会の開催などによりお互いの親睦を深める活動を行っています。

活動内容

(ネパール人へ)

- 生活負担を軽くするための支援・援助
- 入国管理局での手続きのお手伝い
- 亡くなった時などの対応
- 交流会の開催 など

(新潟の人たちへ)

- 団体で献血を行うなどの地域貢献活動



新潟との関わりかた

県内には、たくさんのネパール人が住んでいます。その人数は年々増え、現在、国別では第6位(450人弱※)となり、新潟のさまざまな場所で学び、働いています。

さて、日本で暮らすネパール人の中には、ゴミの捨て方など日本のマナーやルールに悩む人がいます。また、私たちには、日本語、特に漢字が難しく、役所などから送られてくる書類が読めず、手続きに苦勞することが多いです。そのため、身近に通訳や翻訳を依頼できる機関があれば良いと思います。

そして、これからの時代、ネパール人に限らず外国人と新潟の人々がお互いを知るために、よりコミュニケーションを深めることが大切です。新潟県でも外国人との交流会があると思いますし、当団体でも交流会を開催しています。共生に向け、新潟県や市町村との連携や協力を一層よろしくお願ひします。

※令和3年12月 法務省統計



新潟におけるベトナム人協会

理事長 ファム・フォン・リン 氏

コミュニティの紹介

県内の国籍別外国人労働者数はベトナムが最も多く※、新潟県の経済発展に大きく貢献していると言えます。他県のベトナム人コミュニティと比べ、規模は小さいものの、その分結束力は強い団体です。

2021年には、国際交流促進に貢献した団体として、駐日ベトナム社会主義共和国大使館より表彰されました。

※新潟労働局「新潟県における外国人雇用状況の届出状況」（令和3年10月現在）より

活動内容

- 県内在住ベトナム人の相互扶助
- 県内在住ベトナム人の日本語能力及び専門知識の向上のための活動
- 県民と県内在住ベトナム人との交流イベントの開催
- ベトナムの各地方と新潟との文化・経済・技術交流

新潟との関わりかた

コロナ禍という困難な状況下で誕生した当会は、団結力や思いやりにあふれており、生活に困っているベトナム人に定期的に食料支援などを行っています。

また、異文化理解を促進し多文化共生社会を実現するため、県民と在住ベトナム人との交流の場を提供するほか、各分野で活躍するベトナム人が情報を共有するためのカフェトークやウェビナーなども開催しています。

さらに、県民にベトナムの多様な姿を紹介するとともに、ベトナムにも新潟の魅力を伝え、相互の文化・経済・技術交流を促進していきたいと考えています。

これからの新潟県にとって国際人材の育成が不可欠ですが、県内の各機関や企業などで国籍を問わず多くの県民が参加できる研修などが行われることで、国際感覚豊かな人材の育成が図られるのではないかと考えます。そのためにも県内の関係機関の皆様からご協力をいただきたいと考えています。



NIMO 新潟・モンゴル会

会長 エンフボルド・バトバダル 氏



コミュニティの紹介

NIMO 新潟・モンゴル会は、現在または過去に新潟県に居住していたモンゴル出身者により構成されています。年々モンゴルと日本との交流関係が深くなり、本県に留学するモンゴルの若者たちも増加してきたことから、2015年1月、新潟県で設立されました。本県のモンゴル人留学生たちをまとめ、情報交換や相互支援、モンゴルに関するイベントを企画実施することで、新潟とモンゴルの架け橋になることを目指しています。

活動内容

- 情報交換、イベントの開催、新規入国者へのアドバイスや手助けなどによる県内在住モンゴル人のコミュニティ形成と支援
- 新潟県とモンゴルの経済関係の拡大・強化のための活動
- モンゴルの文化、経済、生活などを新潟県に紹介するイベントの開催
- モンゴルと日本の中小企業とのマッチングへの貢献
- モンゴルにおける人道的・公共的活動への支援・貢献

新潟との関わりかた

私たちは、さまざまな国や民族間の相互理解は、全人類の平和と繁栄のための基本であり、交流やコミュニティ構築の活動はその不可欠な要素であると信じています。そのため、NIMO 会員は自主的に新潟県内でモンゴルフェアなどの各種イベントを開催し、モンゴルの文化、生活、経済を地域住民に紹介することで、この相互理解に貢献しようとしています。このようなイベントにより、新潟の人々や企業がモンゴルに対する理解を深め、モンゴルとの様々な協力関係を発展させることに興味を持ってもらえるようになることを願っています。



外国人相談の窓から

外国人相談センター新潟通信

～ 2022年 相談体制を強化！～

FRCN 外国人相談センター新潟

月曜～金曜 10:00～17:00
 新潟市中央区万代島5-1
 万代島ビル2階
 ☎ 025-241-1881
 ✉ nia10@niigata-ia.or.jp



外国人相談センター新潟 (FRCN) は、多様化・複雑化する問題に迅速に対応するとともに、県民・外国籍住民の皆さんにとって、より相談しやすく親しみやすい窓口とするため、令和4年4月から相談体制を強化しました。

(1) ロシア語通訳員を配置しました

ウクライナからの避難民を支援するため、センターの開設日は毎日、ロシア語で相談できるようになりました。ウクライナ語は翻訳機で対応します。

(2) オンラインによる相談・予約を開始しました

広い新潟県では、直接相談したくてもなかなかセンターまで行くことができない方も多くいます。そのため、ZOOMを使ったオンライン相談を始めました。相談員や専門家と直接顔を合わせて相談できたり、書類などを見ながら話すことができるので、対面と同じように相談することができます。

また、行政書士や弁護士、東京出入国在留管理局職員によるオンライン専門家相談は、ホームページから予約ができるようになりました。ホームページの予約フォームから希望する日を選び、必要事項を入力することで予約ができます。もちろん、電話やメールでも予約できるので、ぜひお気軽にご活用ください！

オンライン相談予約申し込み内容入力

申込内容確認入力の上、「入力内容確認」ボタンをクリックしてください。
 ※このフォームでの予約は3日前までに行ってください。
 ※2日以内の相談を希望する場合は、連絡電話 (TEL:025-241-1881) をしてください。

タイトル	日時	場所	定数	残り	予約
外国人相談予約	09:12	13:00-14:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:12	14:00-15:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:13	15:00-16:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:13	16:00-17:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:15	13:00-14:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:15	14:00-15:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:15	15:00-16:00	1人	1人	予約済み
外国人相談予約	09:15	16:00-17:00	1人	1人	予約済み
外国人行政書士相談	09:28	10:00-11:00	1人	1人	予約済み
外国人行政書士相談	09:28	11:00-12:00	1人	1人	予約済み
外国人行政書士相談	09:28	13:00-14:00	1人	1人	予約済み
外国人行政書士相談	09:28	14:00-15:00	1人	1人	予約済み
外国人行政書士相談	09:28	15:00-16:00	1人	1人	予約済み
外国人行政書士相談	09:28	16:00-17:00	1人	1人	予約済み

相談予約



ホームページ 予約フォーム

(3) マスコットキャラクター「やっこい」登場！

より多くの県民・在住外国人の皆様から気軽にセンターをご利用いただくため、親しみやすいマスコットキャラクターを作成しました。

キャラクターのデザインは開志専門職大学アニメ・マンガ学部で作成依頼し、審査委員会による審査の結果、県内出身の佐藤瞳さんの作品が採用されました。

キャラクター名は、新潟弁で「柔らかい」を意味する「やっこい」です。アクセントは「や」に置いてください。やわらかいデザインと名前は、「気軽に相談してほしい」という思いが込められています。これからいろいろな場面に登場しますので、どうぞよろしくお願ひします！

マスコットキャラクター「やっこい」



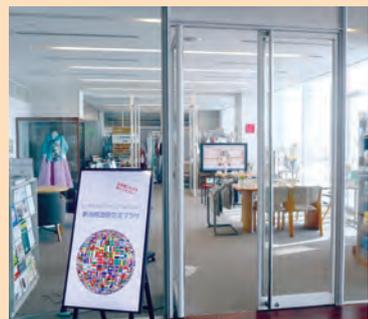
やっこいの作者 佐藤瞳さんのコメント

採用していただいたこと、大へんうれおちます。皆様に愛されるキャラクターになってほしいと切に願っています。



国際交流プラザだより

新潟県国際交流プラザのリニューアルをおこないました！



広く快適になりました

駐新潟大韓民国総領事館から韓国の民族衣装及び韓国伝統模様のパネルをご寄贈いただきました。このたび新たに韓国コーナーにて展示いたしました。

美しく華やかな刺繍の民族衣装をぜひ、ご覧ください。



ご寄贈いただいた民族衣装

図書貸出をおこなっています！

プラザ内にある図書の貸出をおこなっています。より多くの皆さまに手にとりいただけるよう、このたびご利用いただける方の範囲を広げ、県内に居住されている方はどなたでも借りられるようになりました。



貸出対象者
 ⇒新潟県内に居住している方で来館して貸出手続きができる方

図書貸出



このページにはふりがなを振っています

外国人相談の窓から・国際交流プラザだより

JICA 新潟デスクだより

初めまして。
5月末よりJICA新潟デスク
として着任した
中村史（なかむらふみ）です。



大学3年の夏休みにタイのタマサート大学でサマースクールに参加後、憧れていたチェンライの少数民族の高床式住居でホームステイ。タイで衝撃的な国内格差を目の当たりにし、国際協力に関心を持つ。

その後、イギリスにて農業経済の修士号を取得し、インドでの貿易の仕事を経て、JICA（独立行政法人国際協力機構）で17年間勤務。

2020年にJICAを退職し、新潟にて夢の茅葺屋根暮らしを開始。日々雑草と虫に奮闘しつつ、2022年5月末よりJICA新潟デスクとして活動中。



大学院の修了式

JICAとは、日本の政府開発援助（ODA）の実施機関です。開発途上国において人間の安全保障と質の高い成長を実現するため、「信頼で世界をつなぐ」というビジョンを掲げ、人々が明るい未来を信じ多様な可能性を追求できる、自由で平和かつ豊かな世界を希求し、アジア、アフリカ、中南米などの約150か国を対象に教育、保健、農業、インフラ整備など様々な事業を行っています。JICA新潟デスクとは、このようなJICAの取組を広く県民の皆さんに知っていただくと共に、国際協力に関心を持つ方々をアクションへと繋げるお手伝いをする、新潟県におけるJICAの窓口です。



ペルーでの会議の様子

私はこれまで、故緒方貞子元JICA理事長が主導した復興支援、つまり民族紛争後の地域において、内戦時に対立していた双方の民族と第三者である日本人と一緒に、内戦により打撃を受けた農業生産基盤や技術の回復に取り組むことを通じて、経済活動の回復と共にお互いの民族への信頼関係を涵養することを目的としたプロジェクトに携わってきました。また、海外赴任先のペルーでは、着任直後に発生したペルー沖大地震の際の緊急支援や、当時設立されたばかりのペルー環境省とごみ問題に二人三脚で取り組みました。全国に4か所だった衛生埋立て処分場を全国31か所に新設すると同時に、ごみ収集システムの改善やリサイクルを増進する統合的廃棄物処理を地方都市に導入する事業に従事しました。

私はこれまで、故緒方貞子元JICA理事長が主導した復興支援、つまり民族紛争後の地域において、内戦時に対立していた双方の民族と第三者である日本人と一緒に、内戦により打撃を受けた農業生産基盤や技術の回復に取り組むことを通じて、経済活動の回復と共にお互いの民族への信頼関係を涵養することを目的としたプロジェクトに携わってきました。また、海外赴任先のペルーでは、着任直後に発生したペルー沖大地震の際の緊急支援や、当時設立されたばかりのペルー環境省とごみ問題に二人三脚で取り組みました。全国に4か所だった衛生埋立て処分場を全国31か所に新設すると同時に、ごみ収集システムの改善やリサイクルを増進する統合的廃棄物処理を地方都市に導入する事業に従事しました。



ウズベキスタンでの視察の様子

多様で複雑な世界の課題に対して自身にできることはとても小さく、国際協力は偽善なのだろうか悩むことも正直ありますが、そんな時はエリトリア独立の内戦を戦ってきた学友の「知ろうとしてくれる人がいることが力になる」という言葉と、「やるしかないねっ!」とどこまでも前向きなペルーの仕事仲間を思い出し、自分のできることに挑戦しています。開発途上国と呼ばれる国々は、抱える課題以上の魅力ある文化や人々で溢れていて、彼らと共に働くことは自分の考え方や気持ちをとても豊かで柔らかくしてくれます。すこしムスカシイ気がする国際協力かもしれませんが、「知り」、知ったことについて「考える」ところから、一緒に始めてみませんか。



上：中村さんとペルー環境省の仕事仲間



右：アンデスのベビーアルパカ

ペルー共和国

首都 リマ
人口 約3,297万人
面積 約129万平方km（日本の約3.4倍）
言語 スペイン語
（他にケチュア語、アイマラ語等）

〈出典〉

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/peru/index.html>

NIA 活動レポート

外国につながる子どもたちへの支援を考える研修会

令和4年3月12日（土）、朱鷺メッセ（新潟市中央区）において、ハイブリッド型セミナー「どうする？外国人保護者とのコミュニケーション」を開催しました。

特に幼児や年少児童をもつ外国人保護者が抱える問題や対応などについて、山形大学学士課程基盤教育機構教授の内海 由美子さんからご講演いただきました。講師が運営する支援サイト「幼稚園・保育園の連絡帳を書こう！」をとおして、多文化保育・多文化教育について考えました。

また、外国籍の子どもが在籍する上越市立南川保育園の園長 宮越 美恵子さんから実際の現場の様子や対応などについてお話しいただきました。

会場とオンラインの参加者をつなぎ、ワークショップや意見交換などを活発に行いました。



研修の様子

外国人の医療支援に関する研修会

毎年、にいがた医療通訳委員会との共催で開催している外国人に対する医療支援に関する研修を令和4年3月26日（土）にオンラインで開催しました。

今回は、「多文化共生社会の先にある異文化間介護の現実」をテーマに、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト代表の木下 貴雄さんを講師にお招きして、外国人高齢者が直面する問題や、より良い支援を行うための関係機関との連携などについてお話をお伺いしました。

また、NPO 法人神戸定住外国人支援センター（KFC）デイサービスセンターハナの会の鄭 秀珠（ちよん すじゅ）さんから、多文化デイサービスセンターの日常などについて事例報告をしていただきました。

当日は、外国人支援団体のほか、医療機関や福祉団体の関係者など様々な分野からご参加いただき、関心の高さがうかがわれました。



医療セミナーの様子

国際女性デーフェア

国連が定める国際記念日「国際女性デー」（毎年3月8日）に合わせて、令和4年3月6日（日）に新潟県国際交流プラザで国際女性デーフェアを開催しました。アメリカ出身の国際交流員ケイトリン・デパーマーさんをお迎えして、アメリカに関する基礎知識や世界で活躍するアメリカ人女性についてご紹介いただきました。

また、今回は多くの留学生がイベントを盛り上げてくれました。会場設営や受付の他、「世界で活躍する女性たち」のパネルも留学生たちが作ってくれました！



講演の様子



フェアに参加した留学生

ボランティア研修

新潟県国際交流協会では、国際交流イベントを支援していただく通訳・翻訳ボランティアを募集し、登録していただいています。

令和4年3月19日（土）、ボランティア登録者を対象に通訳技術の向上を図るセミナーをオンラインで開催しました。講師に東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授の内藤 稔さんをお招きし、「コミュニティ通訳の世界」と題した講演と通訳トレーニングを実施しました。

多文化共生社会におけるコミュニティ通訳の役割などに関する講演の後、53名の参加者が言語別のグループに分かれ、実際の場面を想定した通訳の訓練を行いました。



オンライン研修の様子

ウクライナ避難民への通訳支援

新潟県国際交流協会では、ウクライナ情勢に係る避難民支援体制の整備を図るため、ウクライナ語、ロシア語の通訳ボランティアを緊急募集し、6月末までに25名の登録がありました。

令和4年6月11日（土）には、登録者を対象に、説明会並びに研修会を開催しました。新潟県からの国や県の受入状況に関する説明、当協会からの本ボランティア派遣制度の説明の後、（特非）国際活動市民中心（CINGA）の新居 みどりさんから「避難民へのことばの橋渡し～通訳ボランティアの役割」をテーマに、避難民へ通訳支援をするにあたっての心構えなどについてご講演いただきました。

大和証券からの寄付金

令和4年6月20日（月）、大和証券グループから「グループ120周年 こどもの未来プロジェクト」として、当協会に30万円の寄付金の贈呈がありました。子どもたちの国際理解教育などに有効に使わせていただきます。



左：大和証券（株）
新潟支店長 立花 利晃 氏
右：公益財団法人新潟県国際交流協会
理事長 中山 輝也

NIAからのお知らせ①

全てのお申込み・お問合せは下記までお願いします。

国際理解セミナー「アジアから世界を知る！」を開催します！

新潟県と関わりの深いアジア地域の歴史や社会、文化等を学び、国際理解を深めるセミナーを県内各地で開催します。

より多くの方からご参加いただけるよう、オンラインでも参加できる講座もありますので、お気軽にご参加ください。



昨年度開催セミナーの様子

日程	テーマ	講師	会場
10 / 15 (土) 13:30 ~ 15:00 (ハイブリッド)	もっと楽しいフィリピン	新潟フィリピン協会 会長 スティーブソン・アロソ 氏	メディアシップ6F・ ナレッジルームA・B
10 / 22 (土) 10:00 ~ 11:30 (ハイブリッド)	枯渇性エネルギーから 自然エネルギーへ～中国の動向～	新潟産業大学 教授 絹川 ゲニイ 氏	柏崎市市民プラザ 学習室 201・202
11 / 3 (木・祝) 14:00 ~ 15:30 (ハイブリッド)	インドネシアの食と農	新潟食料農業大学 副学長 中井 裕 氏 インドネシア人留学生	新潟食料農業大学 胎内キャンパス J棟 201
11 / 26 (土) 14:00 ~ 15:30 (対面のみ)	ベトナムの首都ハノイの 経済を支える出稼ぎ労働者たち	敬和学園大学 准教授 長坂 康代 氏	新発田市健康長寿交流 アクティブセンター あおり館1F屋内広場

国際理解教育プレゼンテーションコンテスト参加チーム募集！

地球規模での問題、多文化共生、日本と海外との関係における問題など、中学生・高校生の皆さんが「国際理解」について普段考えていること、行動したいと思っていることをプレゼンテーションしてください！

開催日時：令和4年12月17日(土)

場 所：朱鷺メッセ 国際会議室(マリンホール)

申込方法：中学生部門、高校生部門
各部門、生徒3～5名、
成人の指導者1名以上の
チームで申込み。

プレコン
HP



締 切：令和4年9月30日(金)

※詳細は、右記HPの実施要項をご確認ください。



昨年度の様子

留学生就職支援セミナー

日本の就職活動や就職に伴う在留資格について学ぶ就職セミナーを開催します！

開催日時：令和4年11月9日(水)

場 所：朱鷺メッセ メインホールB

内 容：

①就職のための在留資格を学ぼう

講師 東京出入国在留管理局 在留支援部門
在留支援担当統括審査官 安本 大輔 氏

②先輩が語る就職事情

留学生を採用した企業の紹介と、そこで働く
先輩からの体験談

※申込方法など詳細はHPにてお知らせします。

行政職員向けやさしい日本語研修会

だれもが情報にアクセスしやすい「やさしい日本語」でのコミュニケーションの取り方について理解を深め、外国人住民が訪れる機会の多い行政窓口で、より円滑な対応をとり住民サービスの向上につなげていくことを目的に、行政職員に向けた研修会を開催します。

日程	会場	講師
10 / 7 (金) 新潟市 13:30~16:00	クロスパル にいがた 5階交流ホール	一橋大学 森有礼高等教育 国際流動化機構
11 / 10(木) 柏崎市 13:00~15:30	柏崎市役所1階 多目的室1・2	国際教育交流センター 准教授 柳田 直美 氏

全てのお申込み・
お問合せ先

(公財) 新潟県国際交流協会 <https://www.niigata-ia.or.jp/>
TEL: 025-290-5650 Eメール: nia2lc@niigata-ia.or.jp

NIAからのお知らせ②

ホームページをリニューアルしました！

誰にとっても見やすく・使いやすいホームページを目指して、サイトデザインを全面リニューアルしました。

ホームページ



新たな機能

- 多言語翻訳機能、ふりがな機能
- Zoom オンライン相談・予約システム
- スマートフォン対応 など

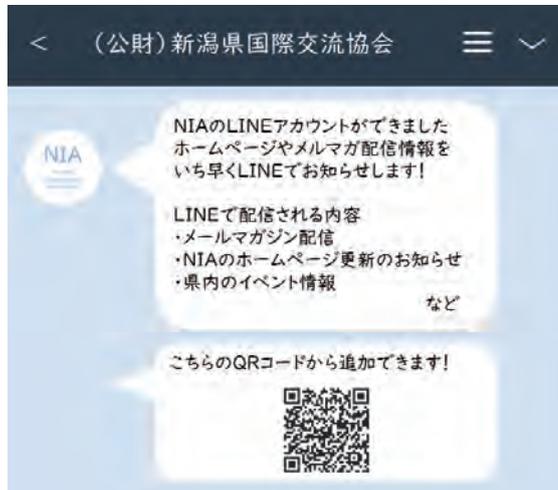


メールマガジンにも追加機能！

ホームページを介した多言語翻訳機能で、市町村の防災メールの内容を見ることができ、すでにメルマガ登録している方も防災メールの登録ができるようになりました。



LINE アカウントができました！



留学生交流推進員をご活用ください！ 2022年度は、29名の留学生交流推進員が登録し活動しています。

国際交流活動等に意欲がある県内の外国人留学生を「留学生交流推進員」として国際交流・国際協力・多文化共生事業を実施する県内の民間団体、市町村、学校などに派遣します。

日本語でのコミュニケーションはもちろん、さまざまな能力や特技を持った個性豊かな留学生交流推進員が、県内の国際交流の活発化や多文化共生社会の推進に向けて協力します。

ぜひ、留学生交流推進員をご活用ください！



柏崎地域国際化協会の文化体験イベントに参加した留学生交流推進員

留学生交流推進員



4コマ漫画

新潟県国際交流員が日本で体験したエピソードを、日本アニメ・マンガ専門学校の学生が『マンガ』でご紹介します！

第9弾

タイトル

『オバケの季節』

ペンネーム
おーきー



～作者メッセージ～

新潟に生息するカートゥーンが好きで人間です。最近では新作のピクサー映画が楽しみ。昨年に引き続き、素敵なエピソードを漫画にする機会をいただきました！少しでも楽しんでくれると嬉しいです！

◇おーきー◇ 日本アニメ・マンガ専門学校 ビジュアルデザイン研究科1年

